

第1回 ムーンライトセミナー

テーマ「長田を語る～長田の産業について」

講師 宍田正幸さん（共創オフィス代表）KOBE 鉄人 PROJECT 副理事長

講演要旨

1. 日本の中の神戸は・・・

- ・他地域・他国との交流拠点
- ・異文化と融合した独自の文化発達
- ・近代は重化学工業の発達による発展
- ・多種類の産業が発達⇒新たな産業が出現するポテンシャルが高い

2. 長田の特徴は・・・

- ・漁村・農村⇒製造業⇒地域商業の発展と衰退

※長田神社前と新長田の発展の違い

古くから門前町としての長田神社前に対し、新興産業が発達し自律的な産業クラスター形成した
新長田

- ・多文化共生

在日文化の存在・琉球文化(奄美)・現在ではベトナム

3. 阪神・淡路大震災は・・・

- ・震災状況

木造家屋の密集・ケミカル資材により火災が延焼

直接被害より間接被害が深刻

取組の特徴

- ・神戸市内の震災復興事業～長田区南部～再開発エリア

長田南部に集中（ケミカル産業エリア・新長田商業エリア）

震災30年でようやく終焉(これでも早い方)

- ・震災被害と再建事業

高齢化社会・産業構造の転換⇒コミュニティビジネス

バリアフリー⇒ユニバーサルデザイン

4. これからの産業は・・・

- ・復興10年時点の長田区

すべての産業が衰退(他の区ではサービス業が増加)

ケミカルに変わるリーディングプロジェクトがない

- ・KOBE 鉄人 PROJECT の挑戦

中市街地活性化法の活用（ものづくりのまち、賑わい商業、個性的な拠点）

いきさつ（鉄人誕生50年）⇒官民一体の取組

先に事務局⇒実行委員会⇒受け皿のNPO法人

- ・ユニバーサル社会の実現

ボランティア元年⇒UDのまちづくり⇒UD産業

5. そして「まちづくり」は・・・

- ・安全安心な環境、地域経済、文化の3本柱で考える
- ・長田は創造都市の苗床⇒クリエイターの集積⇒新しいUD産業
- ・医療産業都市構想(行政主導)に対し、地域福祉サービスの展開(自律的)へ

